

みどりの風

春
No.85
Spring
2026

特集

サンショウウオの棲む里川

自然学校だよ



自然学校のトンボ池では、毎年、春になると2種類のカエルが産卵に訪れます。産卵期間は2~3週間ほどで終了し、ゼリーに包まれたたくさんの卵塊を残していきます。産卵から1週間ほど経つと、池は孵化したオタマジャクシに覆われます。

高尾の森自然学校
(運営:セブン-イレブン記念財団)



PayPayでも
募金ができる!
オンライン寄付は
こちらから

●編集発行

一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8
TEL03-6238-3872 <https://www.7midori.org>

- 編集協力 弘旬館
- デザイン 高橋美保
- 表紙・扉写真 関 慎太郎
- 印刷・製本 株式会社ローヤル企画

みどりの風

2026年春号 (vol.85)
2026年4月14日発行

©2026 セブン-イレブン記念財団 001-2604-5100 S. K. L.

CONTENTS

No.85
Spring
2026

特集

サンショウウオの棲む里川

吾が心のオオサンショウウオ 玄侑宗久 …… 03

オオサンショウウオ保護活動のホットスポット!
大人も子どもも、力を合わせて …… 06
東広島市豊栄町

進むオオサンショウウオの交雑—— …… 09
在来種を守れるか 西川完途

あなたの町にもいるかも!?
わが町のご当地サンショウウオ …… 12

series

探訪 わが校のおもしろ自然研究
トウキョウサンショウウオの繁殖を助ける活動 …… 14
神奈川県立横須賀高等学校 科学部

絶滅の恐れがある生きもの図鑑① ゲンゴロウ …… 16

脱炭素チャレンジカップ2026
鳴門ワカメの不要部分を有効活用 …… 18
徳島県立吉野川高等学校

ただいま活動中
河川の魚の生態調査を体験型環境学習で …… 20
特定非営利活動法人 R.I.La (りら)

やまけんのうまいもの風土記
生命力に満ちたアスパラガス 山本謙治 …… 22

四季折々の暮らしのしきたり
「引っ越し蕎麦」にはどんな意味があるのか? …… 24
柴崎直人

もっと知りたい! 地球温暖化
これからどうなる? 少雨と乾燥化 …… 26

活動レポート …… 28
第15回全国草原サミット・シンポジウム in ここのえ …… 29
セブンの森だより …… 30

定期送付・停止の
希望はこちらから



本書は環境に配慮し、FSC® 森林証紙と
植物油インキを使用しています。

特集

サンショウウオの 棲む里川

サンショウウオといえば、オオサンショウウオを
思い浮かべるが、じつは日本には、
ほかに約50種の小型のサンショウウオがいる。
体長10〜20センチほど。一生のほとんどを
川や池の石の隙間や落ち葉の下で
ひっそりと暮らすため人目につきにくい。
世界でも稀な種類を誇る
このサンショウウオが、
いま絶滅の危機にさらされている。
彼らの生息地の
保全活動をとおして知る、
里山の生物多様性の現在とは。

吾が心のオオサンショウウオ

玄侑宗久

私がオオサンショウウオに
ついて語ってよいか

新聞社での仕事を終えた私は、小雪の
ちらつく上野公園にいた。国立科学博物
館で「大絶滅展」を観るためである。し
かし入場できるのは二時間後と聞き、す
ぐに諦めて上野動物園に向かった。そう
だ、絶滅した動物は確かに興味深いが、
絶滅が危ぶまれる動物はもっと切実では
ないか……。オオサンショウウオについ
てのこのエッセイの仕事を憶いだしたの
である。

ただ正直に言えば、私には未だにもつ
と適任な執筆者がいるような気がする。

げんゆう・そうきゅう

1956年、福島県三春町生まれ。作家、僧侶。

慶應義塾大学文学部中国文学科卒業後、さまざまな職業を経験し、京都
の天龍寺専門道場入門。現在、臨済宗妙心寺派、福聚寺第35世住職。ま
た執筆活動では、2001年「中陰の花」で第125回芥川賞を受賞。小説
作品では『水の船先』（新潮社）、『祝福』（筑摩書房）ほか、わかりやすく
禅を説いたエッセイ集『サンショウウオの明るい禅』（海竜社・文春文庫）
など著書多数。東日本大震災の復興支援関係にも力を注いでいる。
公式サイト：<https://genyu-sokyu.com>



たとえば広島には、国内で初めて飼育
下での繁殖に成功した安佐動物公園が
ある。また二〇〇四年に発足した「日
本オオサンショウウオの会」には、毎年
研究者や生息地の関係者が集まってく
る。去年の会場である三重県名張市や赤
目四十八滝界隈にも立役者がいるはずだ
し、また今や生息地である湿原の無謀な
開発に反対する有志だって各地に大勢い
るだろう。

私はといえば、二十年も前に『サンショ
ウオの明るい禅』という本を書いただ
けなのだ。それも上野動物園内の両生・
爬虫類館で出逢い、その様子に惚れ込ん
で、これぞ吾が心の師だと熱く思い込ん
だだけなのである。お声掛けは嬉しく、
お引き受けはしたが、まだ肚が据わらず
困っていたのである。

「ごっごっ」
時に「ゆらり」

しかしこれ以上は言うまい。まずはな

にゆえ「心の師」なのか、ご説明しよう。ご承知かどうか、私は禅宗の僧侶なのだが、大きな水槽の中でなぜか片方の前肢を岩の上に置いたまま、不安定な姿勢でボーツと落ち着いている彼（か彼女）の様子に、練達の師の如き禅定を感じた。すべてを小さな目で見渡し、あらゆる音を聞き、水の匂いだって敏感に感じているはずだが、とにかく「どっしり」している。しかも動かないことに拘るわけでもないらしく、時に「ゆらり」と動くのだが、その意味はわからない。相当の手練れである。

オオサンショウウオは悩まない

よく坐禅はGDPゼロなどと揶揄されるが、彼（か彼女）はまさにそうした現代文明の成果主義の対極に、「どっしり」「ゆらり」と佇んでいる。かと思えば、夜行性の彼（か彼女）がエサに向き合う姿はまるで別人である。もはや「てきぱき」と言うべきか、やるときはやるのである。しかしこれは躯が勝手に動くのであり、我々のように「もっと」求めて探し回ったりはしない。何も待たず、しかも全てを待つこの態度は、風を待つて空

私は寒中の園内を脇目も振らず西へ西へと進んだのである。

彼らの健在こそ人類最後の希望

ところが一番奥の両生・爬虫類館に入った私は、オオサンショウウオのように呆然とした。ガラスの水槽に貼り紙があり、そこには「動物の公開をお休んでいます」の文字。中を覗いてみたが、エサになることを暫時免れた小魚が数匹泳ぐばかり。私は冷えた体を暖房の効い

オオサンショウウオ 『水族四帖』
奥倉魚仙画より

出典 国立国会図書館



大きく描かれているのがオオサンショウウオ、中央下はその幼生で、左下はハコネサンショウウオ。これらは享和元(1801)年に江戸の板橋水車の堰下で捕えられた個体を、将軍家斉が上覧した後に見世物にされた

中に遊ぶ列子にも優る。

エサは「ひよん」なご縁でやってくる。自分も「ひよん」なことでもここに住むことになった。なぜ、どうして自分はこうなのか、などと彼（か彼女）は悩まない。ただ現状をそのまま受け容れ、「ひよん」なご縁も肯定的に受けとめ、明日の心配もしないのだ。いつでも自足している彼（か彼女）の傍に行けば、きつと「ふふん」という鼻歌が聞こえることだろう。以上が、『サンショウウオの明るい禅』で示した五つの擬態語による敬愛の表現である。ちなみに「明るい」というのは人間のようによくよと感情を蓄積して濁らせない、彩度の高い心のことだ。

私の心に棲みついた彼（か彼女）も今やかなり成長したはずだが、さすがに今回はあらためて「どっしり」を学ぼうと、た館内でしばし温め、トイレを使い、ようやく「ひよん」なご縁を受け容れ、「てきぱき」と出口に向かったのである。

凍えそうな園内を戻りながら考えた。古代からすべてを無言のまま受けとめてきたオオサンショウウオ……。その完全受け身な姿勢は誠に敬慕に値するが、あまりにも無力だ。生息環境に敵はいないとされるものの、経済効率ばかり優先する人間の存在そのものが重大な脅威なのだ。彼らの救援保護と環境破壊は、双つながら人間の生き方、共に許らざる吾々の心の現れではないか。

園内のあちこちに出国したばかりのパンダの写真が貼ってある。途中のシヨップにも、店外まで大小のパンダのぬいぐるみが並ぶ。ああ、せめてオオサンショウウオのぬいぐるみでも買って帰ろうと立ち寄ったが、キリンやハダカデバネズミまであるのに求めるそれはないのだ。

帰りの新幹線できづくと思った。経済優先の競争社会が続くかぎり、オオサンショウウオの生息環境はどんどん縮小するだろう。彼らの健在こそ、吾等人類の生息にとっても最後の希望ではないか。「パンドラの箱」の底でオオサンショウウオが「ゆらり」と動く。



大きな口の上に鼻孔、愛らしい小さな目は何を見ているのか……



オオサンショウウオ保護活動のホットスポット!

大人も子どもも、力を合わせて

東広島市豊栄町

約2300万年の間、その姿形を変えていないという「生き化石」オオサンショウウオは、西日本にしか生息していない希少な両生類だ。各地で保護活動が展開されているが、そのひとつ、東広島市のある里川を訪ねた。



発表会で、清水さんに魚道に関する提案書を渡す小学生

小中高、みんなが夢中になる理由は？

広島県のほぼ中央部に位置する東広島市豊栄町。「水源の里」として知られ、環境省から「生物多様性保全上重要な里地里山」に指定

されている。町内にもオオサンショウウオは生息しているが、その数は減りつつあるのが現状だ。この町で「オオサンショウウオ保全活動発表会」が開催されると聞き、いざ見学へ。会場に着くと、たくさんの小学生が席に着いていた。

「この会は昨年度の第1回について、今回は2回目となります。豊栄町内では小・中・高等学校生、大学生、大学院生、そして大人と、それぞれがそれぞれの持ち場でオオサンショウウオの保全に取り組んでまいりました」

やクイズを駆使して活動報告する。探検隊は現在12代目にあたるという。川で調査をするほか、グッズや漫画、ポスターなどを制作し、図書館やお店に配布している。この日は魚道に関する提案書を用意して、広島大学総合博物館准教授

の清水則雄さんへ提出。発表の終わりに、11代目の探検隊が作ったという曲「ゆずりあう心ふるさと豊栄」を合唱した。

ウオは登れないので、上流の巣穴へ移動できなくなり、繁殖できない場合があるのだ。そこで保全グループでは、オオサンショウウオが移動できるように、堰の下に石を積んでスロープを作る活動もおこなっているという。



川で見つけた幼生のオオサンショウウオ

←アカハライモリや川魚も発見!

続いて賀茂北高等学校2年生のオオサンショウウオ保全グループの発表。絶滅危惧Ⅱ類に指定されていることや、豊栄町の課題をときばきと解説していく。オオサンショウウオは土手にできた穴を巣穴や隠れ家とする。だが、河川工事で川岸のコンクリート化が進み、穴がなくなりつつある。また、高い堰が作られるとオオサンショウ

ウオは登れないので、上流の巣穴へ移動できなくなり、繁殖できない場合があるのだ。そこで保全グループでは、オオサンショウウオが移動できるように、堰の下に石を積んでスロープを作る活動もおこなっているという。その後、広島大学大学院の学生が交雑に関する研究内容を発表。続いて幼稚園の園長が、園児が楽しむ自然活動について紹介した。小学生たちは熱心にメモをとり、登壇者に質問を重ねる。そして、会の終盤に登壇したのが、「NPO

法人オオサンショウウオと暮らすまちづくり会」の山崎大海さんと前出の清水さん。豊栄町の保全活動を盛り上げるキーパーソンがこの二人だ。

形で、清水さんは活動をスタートさせた。広島大学大学院で清水さんのもとに学んだ山崎さんは、北海道で公務員になるも、オオサンショウウオがどうしても頭から離れず、退職して広島へ。清水さんとともに、調査や研究のほか、地域一丸となった活動に取り組み始めた。二人は漫画『オオサンショウウオと暮らすための50のこと』を共著で出版。パンフレットやゲームの制作など、さまざまな形でオオサンショウウオのことを伝えている。二人の情熱が子どもたちの心を動かし、この日の発表会へとつながっているのだ。

左端が清水則雄さん、右端が山崎大海さん。中央左はオオサンショウウオの研究者を目指す中学2年の五十嵐旭東(あきと)さん。中央右は中学3年の原由梨絵(ゆりえ)さん。スロープの模型を制作したほか、オオサンショウウオの絵も描く



「日本オオサンショウウオの会」は、研究や保護に携わってきた歴代の面々が情報交換するために発足した団体で、各地の取り組みをつなぐ。事務局長の田口勇輝(ゆうき)さんも発表会に来場。田口さんは広島大学のオオサンショウウオ保全対策プロジェクト研究センター客員研究員。島根県邑南町の瑞穂ハンザケ自然館で学芸員も務める

地元住民の集まり「東広島オオサンショウウオの会」の三宅将己さん。常時連絡をとっているのは12人ほど。広島大学と共同で調査をしている



清水さんが豊栄町でオオサンショウウオの調査を始めたのは2011年。きっかけは、旧豊栄町で文化財保護委員長を務めていた故高松哲男さんの「里山の宝が危うい」という危機感だったという。河川工事などの影響で、オオサンショウウオの生息場所が失われつつあったからだ。当時87歳だった高松さんから引き継ぐ

清水さんが豊栄町でオオサンショウウオの調査を始めたのは2011年。きっかけは、旧豊栄町で文化財保護委員長を務めていた故高松哲男さんの「里山の宝が危うい」という危機感だったという。河川工事などの影響で、オオサンショウウオの生息場所が失われつつあったからだ。当時87歳だった高松さんから引き継ぐ



外来種とどう向き合う？

進むオオサンショウウオの交雑 在来種を守れるか

西川完途

にしかわ・かんと／1975年生まれ。京都大学大学院 人間・環境学研究科教授、地球環境学堂教授（兼任）。研究テーマは、アジア産両生類の系統分類学。とくに有尾目サンショウウオ科と無尾目ヌメアシナシイモリ科の系統分類と自然史。

——オオサンショウウオについて、日々どのような調査活動をしているのですか？
西川 月に一度は川に行き、オオサンショウウオがどこにいるのか、何を食べているのかといった基礎的な調査をしていますね。京都の淀川水系では、在来種と外来種チュウゴクオオサンショウウオの交雑が広がっているのです、それを調べています。
——外来種はなぜ日本へやってきて、いつ頃から交雑が広がったのでしょうか。
西川 日本のオオサンショウウオは1952年に特別天然記念物に

なりました。それ以前は食糧難の時代に食べたり、ペットにしたりしていたのではないかと思います。それが法律で保護されることになったので、チュウゴクオオサンショウウオを食用として輸入したのでしょうか。京都では、料亭に卸されたりしていたのだと思います。それが逃げたのか人が捨てたのかはわかりませんが、そのうち川で交雑個体が発見されるように



研究室で引き取ったばかりの交雑個体

オオサンショウウオのぬいぐるみを販売したり、クラウドファンディングで寄付を集めたりするなど、精力的に活動する京都大学の西川完途研究室。
西川先生は、交雑が進む現状をどう捉えているのか。

外来種は取り除くべき？ さまざまな議論

前出の三宅さんは中学校の教員で、以前は豊栄小学校の教頭だった。小学校で清水さんが特別授業をしたときのことをこう振り返る。「子どもたちに『豊栄はどんなところ？』と尋ねると、『何もなかった』と答え、町に誇れるものがない様子でした。そこに清水さんが授業をしに来てくれて、『特別天然記念物というのは国宝です。みんなは、国宝が生きている素晴らしい環境に住んでいるんだよ』と。このひとりで子どもたちは、町に誇りを持つようになったんですね。たくさん勉強して、日本オ

オオサンショウウオの会が開催する全国大会で、豊栄の自然環境のすばらしさについて発表しました」
この日の会場には、山崎さんのもとでオオサンショウウオを独自に研究する中学生も来ていた。将来は研究者になるという強い意思を持ち、すでに論文も書いていてという。どうしてそこまでみんながオオサンショウウオに惹かれるのか。山崎さんに聞くと、答えはじつにシンプルだった。「実際に川で遭遇すれば、誰だって心を奪われるはず。僕も一目惚れでした。それくらい、大きな興奮と感動があります」
活動は発見の喜びに満ちている。しかし楽しいことばかりでは

ない。「極めて貴重な生きものを扱うわけですから、法律の勉強もしなければなりません。私たちは何をしたいのか、何をしたらダメなのか、しっかり学んでから川に行く。ときには大学教授と同じレベルの問題意識で考える。啓発のための商品開発もします。学ぶだけでは、オオサンショウウオにとって何の変化もないのですから。彼らにしてみれば、『網で捕まえられる』というだけでしかない。調査するならば、ちゃんとオオサンショウウオにとってプラスになるように。そんな意思を持ってみんなで活動しています」
発表会の締めくくりに、清水さんは子どもたちにこう語りかけた。「オオサンショウウオだけではなく、川魚やエビ、カニといったほかの生きものの生態系を守り、周りの環境すべてをよくしていきたい。いま、私たちは広島県の河川工事について、専門家会議を進めています。今日もらった意見はぜひ反映できるようにがんばってい



豊栄町には「オオサンショウウオの宿」という一時保護施設もある。けがをしたオオサンショウウオを保護し、様子を見る

きたいと思っています」
川を歩いて幼生を発見！
閉会后、三宅さんと東広島オオサンショウウオの会のメンバーが記者を幼生調査の現場に連れていってくれた。雪の残る川をしばらく歩くと、小さな幼生のオオサンショウウオを発見。見つけた場所や大きさを記録した後、元いた場所へ返す。道中、アカハライモリや川魚にも出会い、帰りに鹿のフンも見かけた。オオサンショウウオのいる川で、多様な生きものが暮らしていることを実感した。研究者、学校、地域、行政みんながオオサンショウウオと向き合う豊栄町。若い世代が、そのバトンをすでに受け継いでいた。



豊栄町は、広島市にある安佐動物公園とも連携。同園は飼育下での繁殖に成功し、現在250頭ものオオサンショウウオを飼育する。飼育担当者・清水小波さんが次々と紹介してくれた。幾度も繁殖に成功し、80年代から生きるオオサンショウウオもいる





研究室所属の石川世奈さんが標本室を案内してくれた。岡山理科大学で古生物の研究をした後、オオサンショウウオ研究の道へ。京都市の文化財保護課で天然記念物担当としても働いている

なった。これまで見たことのないオオサンショウウオが見つかって、調べてみると、チュウゴクオオサンショウウオの遺伝子が入っていた。20年以上前のことですね。

現在は特定外来生物に指定され、外来種と交雑個体は日本の自然環境に定着したら困るものという扱いです。したがって、原則生きた状態で移動させることができず、僕は許可をとって研究室や水族館に運んでいます。

——2005年から2021年にかけての長期の調査データをもとに、25年11月、交雑に関する研究成果を



研究室オリジナルのぬいぐるみ。在来種をモデルにつくったリアルな科学ぬいぐるみは、口が開き、中に歯もついている。キャラクター化したかわいものや、スマホ画面クリーナーなど、さまざまな種類をオンラインや学会の場で販売

両生類を保護することは水環境を守ることに

——さまざまな方法で研究費を捻出されていますね。

西川 研究にはお金がかかります。オオサンショウウオの研究者も養成したいけれど、研究で生活していける収入を得られないのであれば、学生に勧められません。オオサンショウウオの研究は大変です。調査は夜の川に入るから

かでちゃんと生きていけるようにはしたほうがいいと思いますね。

危ないし、法律が厳しく、許可なしには触ることもできない。おまけに年に一度しか卵を産まないの、なかなかデータがとれない。しかも何十年も生きるの、こちらが先に死ぬかもしれない……。研究にはつくづく

雑個体の個体数を推定しました。それによれば交雑個体は減っていないことが判明しています。

——そもそも外来種や交雑個体は、取り除かなければいけないものなのではないでしょうか。

西川 それに関しては、さまざまな議論があります。たとえば、僕らは米や鶏を交雑させて新品種をつくったりしていますよね。それは人間の生活や食への欲求を満たしているから、よしとしているわけです。また、外来種を自然環境から取り除いたり殺したりすることに動物愛護の観点から反対する人もいます。

——日本ではどのように考えられて

いるのでしょうか。

西川 日本では明治時代以降に入ってきた生物を外来種と捉えています。それ以前に入ってきた生物に対してはとくに何もしていません。

何十年もそこで生息している外来種を取り除くと、生態系のバランスが壊れることがあります。兵庫県ではコウノトリを保護していますが、コウノトリが食べる餌には、特定外来生物のウシガエルも含まれているそうです。僕らはよく「砂漠に虎を放つ」という言い方をしますが、虎だけを砂漠に放つても、生きていけません。森があり草が生えていて、ネズミやシカがいて……そういうバランスで生態系は成り立っている。そのなかで外来種が役割を果たすこともあるのです。

——オオサンショウウオについてはどんな考えのもとで取り組んでいますか。

西川 まず、日本のオオサンショウウオは特別天然記念物に指定されているので、害を与えるものは



京都水族館とも協力し、共同研究や展示の解説などを行っている。上は京都水族館にいる在来種、下は交雑個体

向いていない生きものですよ。

——だから、謎の生物であり続けているのかもしれないね。

西川 前任の松井正文先生が退任されて引き継いだのですが、私の本業は分類学なんです。たとえば新種のサンショウウオ、トカゲ、カエルなどに名前をつけて、「これがその種の代表だ」という標本を永久に残す。その仕事もあと10年はやらないと整理がつかえません。だから本当はオオサンショウウオ

に取り組んでいる時間はないんですよ(笑)。

でもオオサンショウウオをはじめ両生類の保全活動は、国益に資すると思っています。保護することとは水環境を守ることであり、結果として農業や産業の基盤になるからです。賀茂川のように、政令指定都市のご真ん中で、オオサンショウウオが棲めるきれいな水が流れているなんて、すごい財産ですよ。

あなたの町にもいるかも!?

わが町のご当地サンショウウオ



溪流の落ち葉の下や谷戸田の石の隙間にひっそりと暮らす小さなサンショウウオ。じつはその多様性において、日本は世界でも群を抜いているのだ。さて、あなたの町のサンショウウオとは?

世界有数のサンショウウオ生息国

現在、小型のサンショウウオは3属51種が確認されています(日本爬虫類両棲類学会)。1985年には16種類しか確認されていませんでしたが、研究の結果、多くの種類がいることがわかりました。

キタサンショウウオ属のキタサンショウウオはロシア東部や樺太などにも生息していますが、それ以外はすべて日本の固有種。世界で確認されている小型サンショウウオ約100種のうち、半分以上が日本におり、そのほとんどが限られた狭い範囲に生息しています。そのため和名には「オオイタサンショウウオ」「トウキョウサンショウウオ」など都道府県名や、「オオダイガハラサンショウウオ」「ヒガシヒダサンショウウオ」など限定された地域の名前がついています。いわば「ご当地サンショウウオ」といってもい

いでしよう。

近年、遺伝子を調べる分枝系統学的研究が進んだことから、それまで同種だと思われていたものが、じつは異なる種類であることがわかる例もあります。たとえばハコネサンショウウオは近年9種に分類されたため、「シコクハコネサンショウウオ」「ツクバハコネサンショウウオ」など、和名に地名がふたつ入っています。

日本に多様なサンショウウオが生息しているのは、小型サンショウウオは動きが緩慢であり移動せず、大きな川を渡ったり高い山を越えることはまずないからです。狭い範囲で代を重ね、地域特有の姿や生態に進化したと考えられています。

環境と気候の変化で絶滅を危惧される種も

小型サンショウウオは山中の倒木や石の下などで暮らしてミミズやクモなどの小さな生物を食べ、繁

殖の時期が近づくと水辺に移動し、水中で産卵します。繁殖場所によつて2つのグループにわけられ、ひとつは池や沼など水の流れがあまりない場所で産卵する「止水性」の仲間、もうひとつは溪流中の大きな石の下や地下伏流水中などで産卵する「流水性」の仲間です。

日本はサンショウウオの多様性という点で世界的に飛び抜けていますが、絶滅に瀕している種類も少なくありません。現在、環境省レッドリストに載っている絶滅危惧は35種、準絶滅危惧は7種になります。

多くの小型サンショウウオは、繁殖して幼生が育つ水辺と、成体が暮らす森林がつながっていないと生息できません。丘陵地開発や耕作放棄地の増加などによって、繁殖環境が消滅・悪化しています。止水性のサンショウウオは、ため池や谷戸田の消失で産卵場所がなくなりつつあります。流水性は、森林伐採やシカの食害などによって植生が奪われるため土壌が流出し、生息地の溪流が埋没するケースが各地で見られます。

急激な上昇に弱いため、場所によっては卵の死亡率の上昇が報告されています。また、外来生物のアライグマやアメリカザリガニによる食害や、卵や成体をインターネットで販売することを目的とした採集も問題になっています。

ハコネサンショウウオ属

(徳島県、愛媛県、高知県、岡山県、広島県、山口県)

シコクハコネサンショウウオ

ツクバハコネサンショウウオ (茨城県筑波山系)

ハコネサンショウウオ (新潟県、福島県、茨城県から山口県までの本州。千葉県、大阪府を除く)

サンショウウオ属

エゾサンショウウオ (北海道)

イワキサンショウウオ (福島県南東部、茨城県北部、栃木県南東部)

トウキョウサンショウウオ (栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県)

ミカワサンショウウオ (愛知県東部のごく一部)

オオダイガハラサンショウウオ (三重県、奈良県、和歌山県)

ヤマグチサンショウウオ (山口県、大分県)

イワミサンショウウオ (島根県、広島県)

ツルギサンショウウオ (徳島県、高知県の剣山周辺)

トサシズサンショウウオ (高知県のごく一部)

アマクササンショウウオ (熊本県天草上島)

「サンショウウオの変態」

小型サンショウウオは卵から幼生→幼体→成体と変態するにしたがって、水の中から、陸上へと生息場を変える。

卵

ヤマトサンショウウオ

幼生

成体

3~4カ月で変態して幼体となり、陸上にあがって2年ほどで成体となる。

孵化した幼生は外鰓(がいさい)やヒレがあり、水中のミジンコなどを食べる。

卵のうちは2房で一對、ひとつの卵のうに直径約2~3mmの卵が20~100個入っている。

わが校の おもしろ自然研究

神奈川県立横須賀高等学校
科学部

トウキョウ サンショウウオ の繁殖を 助ける活動

人工池をつくり、産卵を助け、
孵化させ、飼育し、放流する
——保全活動は他校にも広がった。

**校庭を這う
小さな両生類を発見**

10年前のことだ。ラグビー部員が、グラウンドのタックルマンシンの下に、小さいヤモリのような動物が這っているのを見つけた。理科の先生に報告すると、それはトウキョウサンショウウオの成体だった。成体がいるのなら産卵場所があるはず——はたして学校近くの森のU字溝で卵塊が見つかった。トウキョウサンショウウオはその名のとおり、東京郊外ほか関東地方の丘陵地帯の湿地に生息す

る在来種で、体長は10〜15cmほどと小さいが、れっきとしたサンショウウオだ。日中は石や葉の下に隠れているため、人間の生活圏近くに生息していながら見つかりにくく、夜になるとミミズやクモなど小型の虫を捕食する。環境変化の影響を受けやすいため、各地で個体群の減少が危惧されている。近年は、都市開発による生息地および産卵場所の減少や、アライグマなどの外来種の食害によって急速にその数を減らしている。神奈川県では三浦半島にしか生息しておらず、環境



2025年11月のイベント(金沢動物園主催)に参加した科学部員たち



←グラウンド背後の森で、トウキョウサンショウウオの卵塊が発見された

末から4月末にかけて、産卵池に行くと、卵のうが産みつけられていないか確認して、発見したら持ち帰ることだ。卵のうはクロワツサンのような形をしたものが二つ、一対になって枝についている。ひとつの卵のうちには、黒っぽい卵が50〜100個ほど入っている。

持ち帰った卵のうは、水道水を入れたプラスチック製のバットに移し、2、3週間程度、孵化を待つ。孵化した幼生が餌を食べるようになるのはその約1週間後。冷凍してあるアカムシを水で溶かし、2日に1回与える。

幼生の手足が発達してきたら、今度は水槽に移し替える。水槽には砂利を敷いて傾斜を設け、床に浄化装置を埋



卵のう

め込む。成長した幼生は、飼育観察用の一部を残してあとは元の産卵場所付近に戻す。自然繁殖する個体を増やすためだ。16年に初めて卵のうが発見されたとき、11対だったものが、産卵地を整備した結果、25年には169対にまで増えた。神奈川県内で最大級の繁殖場所になったという。

しかし、繁殖は順風満帆だったわけではない。たびたびアライグマによる卵のうの食害に遭った。動物などの動きに反応し自動的にシャッターの下りるトレイルカメラや罠を設置し、18年には11頭、21年には2頭を捕獲、駆除した。19年には、こうして増えた成体を他校に貸与して飼育してもら

クリンとした目に 一目惚れ

科学部の部室前の廊下には、トウキョウサンショウウオが入った十数個の水槽が置かれている。彼らの寿命は15〜20年とされるが、いま最年長は8歳。18年に孵化したものだ。



成体になったサンショウウオは、「里親会」で飼育してもらうものを除いて、産卵池に戻される

う「里親会」を立ち上げ、専門家らと共同研究を始めた。科学部顧問の篠崎俊哉先生(24年度就任)は「連携校を増やし飼育の講習会や意見交換の場をもっと多くつくりたいですね。生物多様性と環境保護を考えるきっかけになってくれれば嬉しい」という。

横須賀高校に科学部ができたのは100年以上前の1917年。前身は物理部で、戦後にできた生物部と統合された。現在、部員は1、2年生31人。生物、化学、情報の3つの分野で活動しているが、トウキョウサンショウウオの世話は、ほぼ全員でおこなっている。

24年、科学部は横須賀市自然・人文博物館で開催された「みんなの手づくり産卵のための人工池

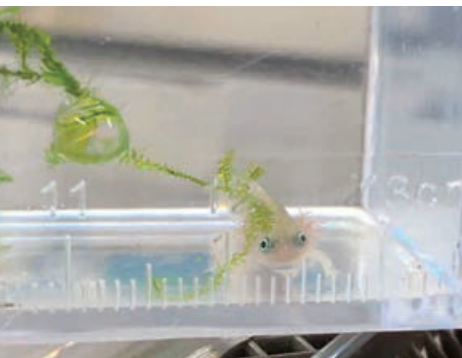
餌のアカムシを与える。みんなが世話係だ



部員たちが手づくりした産卵のための人工池

を一目見たとき、そのクリンとした目の可愛さに惹かれたという。「サンショウウオの保全活動が自分の生きがいになっています。大学進学後もこの研究は、なんとか続けていきたいです」

孵化を待つバットの中の卵のう



科学部の部室前の廊下にあるトウキョウサンショウウオの水槽

手足が発達してきた幼生は水槽に移動される

絶滅の恐れがある生きもの図鑑①

ゲンゴロウ

現在、日本で確認されている絶滅危惧種(レッドリスト2020)は3716種。かつては水田などでごく普通に見ることができたゲンゴロウもそのひとつ。環境の変化とともに絶滅が危惧されています。

種類はなんと約150種

日本にいる水生昆虫は485種。そのうちゲンゴロウの仲間には約150種で、代表的な「ゲンゴロウ」以外は、ゴマダラチビゲンゴロウ、ヒゲブトコツブゲンゴロウなど、名前の前半にも姿かたちの特徴が名付けられています。一番小さなホンコツブゲンゴロウは成虫の体長が1.3〜1.5mm、もっとも大きいゲンゴロウは体長34〜42mmです。ゲンゴロウの仲間には、水田や池、湿原など流れのない水を好む種類と、用水や河川など流れがあるところに棲む種類がいます。代



代表種のゲンゴロウの成虫
体長 34~42mm

表種のゲンゴロウを例にとって生態を説明しましょう。

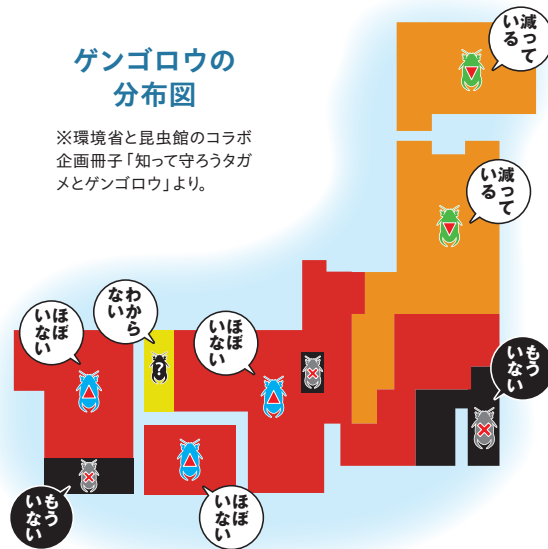
自前の空気ボンベで水中もなんのその

長い毛が生えた後ろ足をボートのオールのように動かし、水中をすいすい泳いでエサを探すゲンゴロウ。前羽と腹部の間に空気をためられるようになっており、ときどき水面に浮かびあがってお尻の

先を水面から突き出し、空気を取り込みます。水中では羽の下にある気門からためておいた空気を吸いますが、呼吸によって酸素が使われて空気層に二酸化炭素が増えると、二酸化炭素が水中へ溶けだし、そのスペースに水中の酸素が溶け込んできません。彼らは長時間水中で過ごすための、見事なシステムを備えているのです。羽があるので飛ぶこともでき、夏は街灯に寄つてきたりもします。

ゲンゴロウの分布図

※環境省と昆虫館のコラボ企画冊子「知って守ろうタガメとゲンゴロウ」より。

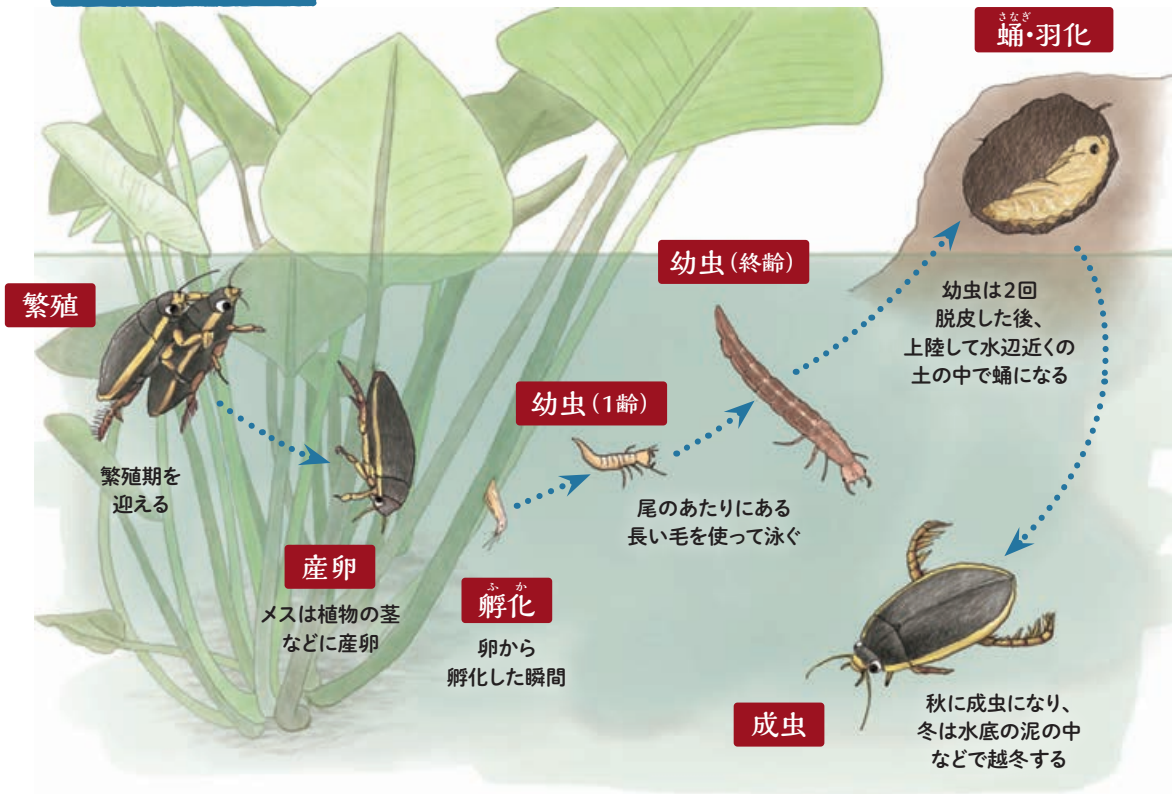


減少している理由

ゲンゴロウは肉食性です。おもなエサはミズムシなどの小型の水生昆虫やオタマジャクシ、トンボのヤゴ、小型の魚など。幼虫はエサを大あごで挟み、とらえた獲物に毒液を送って麻痺させ、消化液を注入し溶かして食べます。成虫もあごの力が強く、ガシツと噛みついて消化液で溶かしながらかぶりつきます。水面に落ちたトンボ

田植えが手作業でおこなわれていた1950年頃までは、ゲンゴロウは田んぼやため池でよく見られました。ため池にたまった泥や里山の落ち葉を肥料として使っていた頃です。しかし50年代半ば〜70年代になると、強い農薬が使われるようになり、急激に減少しました。また、夏にいったん水を抜く「土用干し」が一般的になるなど農法が変わったことも、減少に

ゲンゴロウの一生



拍車をかけました。水田脇の水路やあぜ道のコンクリート化や、過疎化や高齢化で田んぼが放棄されたり、開発によってため池が消滅したことも減少の原因となっています。また、オオグチバスやアメリカザリガニ、ウシガエルなどの外来種による捕食も深刻です。現在、環境省や各都道府県のレッドデータブックには100種以上のゲンゴロウの仲間が選ばれています。いっぽうで、たとえば千葉県では放棄された水田に水をためて生息地を再生し、シャープゲンゴロウモドキの保全活動が実施されるなど、各地でゲンゴロウを守るための取り組みがおこなわれています。ゲンゴロウが生き残るためには、産卵するための水草や、

水辺の土、成虫が隠れるための水底の泥など、さまざまな条件が必要です。エサとなるオタマジャクシや水生昆虫、魚などが多く生息していることも重要で、それらどれかひとつでも欠けてしまうと生息が困難になります。ゲンゴロウを絶滅から守るためには、彼らの生息地を知ったうえで里地里山の保全をおこなうとともに、外来種の駆除も重要なのです。

絶滅危惧生物とは

環境省がまとめた絶滅の恐れがある野生動植物をリストアップした「レッドリスト」に載っているのは、現在3716種。このレッドリストは、国際自然保護連合(IUCN)の評価基準をもとに作成されている。なお各都道府県でも同様のレッドリストがつけられている。

環境省のレッドリスト

絶滅(EX)	我が国ですでに絶滅したと考えられる種
野生絶滅(EW)	飼育・栽培下でのみ存続している種
絶滅危惧IA類(CR)	ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
絶滅危惧IB類(EN)	IAほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
絶滅危惧II類(VU)	絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧(NT)	現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては絶滅危惧に移行する可能性のある種

【参考文献】『田んぼの生きものたち ゲンゴロウ』(農文協)、『今、絶滅の恐れがある水辺の生き物たち』(山と溪谷社)、『ゲンゴロウ・ガムシ・ミズスマシハンドブック』(文一総合出版)、『タガメとゲンゴロウの仲間たち』(サンライズ出版)

～徳島県立吉野川高等学校～ 鳴門ワカメの 不要部分を有効活用 —地域と環境をつなぐ新資源—

大量に廃棄される鳴門ワカメの未利用部位を
資源化——地域産業の活性化と脱炭素の一石二鳥。



廃棄されるワカメの根元など、大量の未利用部分

徳

島の名産品、鳴門ワカメは、三陸に次ぐ生産量を誇る。とくに美味しいとされるのが、2〜3月に収穫される新物（新ワカメ）だ。ところがワカメを商品化する過程で「未利用部位（根元や色のよくない葉など）」が大量に発生し、焼却の際に排出される二酸化炭素（CO₂）の環境負荷や処分にかかる費用、労力の負担が問題になっていた。徳島県立吉野川高等学校では、このワカメの未利用部位を漁業者から譲り受けて、新たな農業資材にする研究を進めている。25年度は、

農業科野菜専攻班の2年生、江澤杜和さん、竹谷美咲さん、中尾琴美さん、坂東舞衣さんの4人がこのテーマに取り組んだ。

驚くべき廃棄量に 資源化を決意

「2学年上の先輩が、漁師さんから『ワカメの根元部分の廃棄の仕方では難儀している』と聞いて、未利用ワカメを資源化できないか、と考えたのが始まりです。まずトマト栽培で実験してみても、未利用ワカメに肥料成分があることを突き止めました。そこで、野菜専攻班を選択した僕たち4人が、研究を引き継いだのです。漁港に行くと、未利用ワカメを入れたコンテナがずらりと並んでいるのを見たときは驚きました。ワカメの一部がこんなに廃棄されているんだ」と江澤杜和さん。

未利用ワカメを肥料にするには、水に浸して塩分を抜いてから乾燥させて粉末にする。それを畑に撒くと、ワカメに含まれるカリウムやマグネシウムが植物の成長に作



「とくしま協働の森づくり事業」（徳島ロータリークラブ主催）に参加し、環境保全にも取り組んでいる

手がよくなるか、ワカメ資材をどれくらい混ぜるといいのか、など試行錯誤を繰り返しながら検討しました」

タデアイの実験では、施肥なしの試験区よりも、ワカメ資材を入れた試験区の方がよく生育し、土壌の保水性も大きく向上することがわかった。これまでタデアイの栽培に使われていた牛ふん堆肥をワカメ資材に代替してみると、牛ふんが排出する温室効果ガスの抑制につながる効果もあった。

吉野杉のスギ苗のコンテナ栽培に施肥する実験では、緩効性肥料を用いた試験区



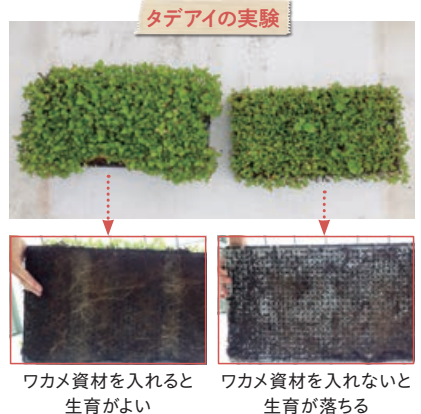
脱塩処理のためにワカメをコンテナの水に入れる生徒たち
脱塩したワカメ



に次いで、ワカメ資材の添加率が多い試験区で良好に生育した。ワカメの膨張・収縮する特性が土壌に通気性を保たせ、根の成長を促し、病害虫を抑制する効果があることもわかってきた。

失敗を糧に探求は続く

「ワカメ資材を入れすぎて、肥料焼けが起きたこともありましたが、でもやり直したら成功して、タデアイの草丈や保水率が上がったときは嬉しかったですね。研究はまだ発展途上だと思います。スギ苗では緩効性肥料のほうがよく生育するので、悔しい。ワカメはもっ



タデアイの実験

ワカメ資材を入れると生育がよい
ワカメ資材を入れないと生育が落ちる

トマト栽培、タデアイの栽培、スギ苗の育苗で効果を確かする一方、地産地消の堆肥や培養土として商品化する計画が進んでいる。「これからは商品化と同時に、効果が一番あらわれる配合率の調査の2つを中心に進めていくつもりです。ここは穏やかでのんびりした地域ですが、田んぼがいつの間にか草むらになるなど、近年、環



スギ苗試験の経過を観察



スギ苗生産会社への見学会。今後は肥料会社にも加わり、協働試験をおこなう予定

用して、堆肥の効果を発揮するのだ。また海藻はCO₂を吸収・固定する性質を持つため、土壌からの炭素の放出を減らす働きもある。「先輩たちから実験の詳細が記録された分厚いファイルを手渡され、それを見てトマト以外ではどんな結果が出るんだろうと応用範囲を広げていくことにしました。たとえば、吉野川流域の特産である高級染料「阿波藍」の原料となる植物、タデアイ（タデア藍）。これを育てるのにワカメ資材をうまく利用できないか。また、どういう処理や工程を踏めば、より使い勝

境は大きく変わっています。ホテルがいなくなれば、毎年見に行っていた楽しい思い出も消えてしまいます。思い出をずっとつなげていくためにも、負荷のかからない循環型の自然環境をつくっていきたいなと思っています」（江澤さん）



セブンイレブン記念財団は脱炭素チャレンジカップを共催しています。

特定非営利活動法人 R.I.La(りら)
河川の魚の生態調査を
体験型環境学習で

世 界のプラスチック生産量は、1950〜2019年の70年間で、年間200万tから4億6000万tへと急増した。大きさが5mm以下のプラスチックを「マイクロプラスチック」と総称し、マイクロサイズで製造されたものと、プラスチック製品が破碎、細分化したものとに分けられる。

このマイクロプラスチックを魚類や鳥類が食べると、体に人工物が蓄積されて、生態系に影響を及ぼす恐れがある。特定非営利活動法人 R.I.La は、2011年に設立され、18年より渓流魚に含まれるマイクロプラスチックの調査をおこなってきた。環境保全活動をおして体験型の環境学習を全国に広める団体だ。「70年代から環境活動に携わっていた前身のグループが、17年に東京農工大学の高田秀重ひでしげ名誉教授に教わりながら、東京湾と多摩川で魚のマイクロプラスチックの影響を調査



名栗川の体験型環境教育活動に参加した、ボーイスカウト飯能第3回のみなさん

をおこなってきた。環境保全活動をおして体験型の環境学習を全国に広める団体だ。「70年代から環境活動に携わっていた前身のグループが、17年に東京農工大学の高田秀重ひでしげ名誉教授に教わりながら、東京湾と多摩川で魚のマイクロプラスチックの影響を調査

したことがきっかけでした。その後、多摩川の源流域まで調査フィールドを広げていきました」と、源流調査チームのリーダーで、法人の理事を務める中村綱秀つひひでさんは話す。

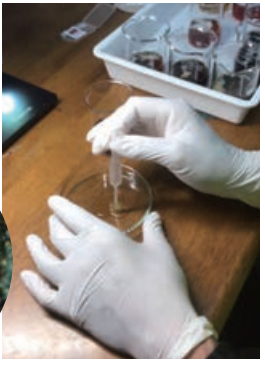
**源流域にまで及んでいる
プラスチック被害**

24年に多摩川と荒川の源流域でおこなった調査では、イワナやヤマメ、ニジマスなど、200匹以上捕獲した渓流魚のすべてからマイクロプラスチックが検出された。人も道路もない源流域に、プラスチックごみが捨てられたり、飛んで来ているのだ。かねて、SDGs(持続可能な開発目標)の「つくる責任・つかう責任」の重要性を実感していたメンバーは、子どもたちへの環境学習を始めることにした。

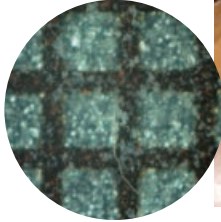
「マイクロプラスチックは海の問題と
思っている人が多いですが、海よりも
河川の魚から高い確率で検出された
ため、多摩川の源流域まで遡さかのぼって調
べていったんです。渓流釣りの経験が
長い僕も、源流域の魚から検出された
ものを目の当たりにして衝撃を受けま



子どもたちが渓流で捕まえたカワムツは、このあと含有物の調査にまわされる



魚の内臓から専用液を使ってマイクロスコープで観察



1mm角の方眼マスの中央の白い糸状のものが、マイクロプラスチック



自由の森学園の生徒たちの観察実習

した。マイクロプラスチック自体は実感しづらいテーマですが、すべての人に関わることです。子どものうちからちゃんと教えて、未来につなげていく必要性を感じました。遊びながら勉強するという理事長の理念を踏まえ、プログラムをつくりました」

小学校低学年、小学校高学年、中学生、高校生と、成長に合わせた3段階のプログラムにした。「見て」川の中を覗のぞいてみる。「試して」川魚を釣ってみる。「知って」マイクロプラスチックを調べてみる、というプログラムだ。

埼玉県を流れる荒川水系での入間川いづまがわや名栗川なぐりがわ、多摩川の上流域などが活動地。小学校低学年は川魚を観察し、ごみ拾いをする。高学年、中学生は釣りから入る。高校生は釣った魚から実際に顕微鏡でマイクロプラスチックを検出し、SDGsや環境問題にどう向き合っていくかを話し合う。この体験型の環境学習は、セブーンイレブン記念財団の助成でおこなわれている。

楽しみながら未来につなぐ

「生物の観察で水中メガネや箱メガネ

を使うと、低学年の子は食いついてきます。釣りやごみ拾いなどでゲーム性、競技性を取り入れると、みんな一生懸命にやってくれます。活動を続ける秘訣は、安全安心をモットーに、教える側も楽しむことです。先生がつまらない顔をしていたら、子どもたちもつまらなくなりますから」

マイクロプラスチック調査から始まった活動は、埼玉県日高市での野生動物の観察と里山保全、そして環境学習と、範囲が広がってきた。25年度からは、熊本県八代市の教育機関から依頼されて、球磨川水系の河川を舞台に高校生向けの環境学習もおこなっている。これからは行政や教育機関、他の団体との連携を深めて、取り組みを全国に広げたいと考えている。

「自然の中に行くと、それだけでも気持ちがいいものです。原生林には手をつけられないのが、メンバーの共通認識です。一度環境を壊したらもとに戻すには大変な時間がかかりますからね。いまある環境を大切に、後の世代にずっと残していく。活動を通して伝え続けていきたいと思えます」



河川のマイクロプラスチック汚染の現状とその原因を学習する飯能のボーイスカウト隊



飯能のボーイスカウト隊による、清掃活動。集まったものは、缶、ビニール、プラごみなど



小学生による、川底の観察会(埼玉県日高市のひまわり探検隊)



調査のため、魚釣りを
する熊本県立八代工業高等学校の生徒

球磨川水系の環境学習の活動は、熊本県全体に広がりをみせている

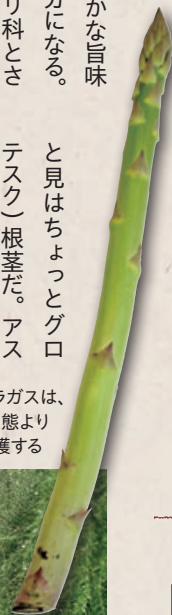


セブーンイレブン
記念財団
助成しています

春を呼ぶ野菜 生命力に満ちたアスパラガス

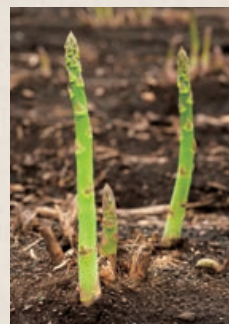
文・写真
山本謙治

やまもと・けんじ/1971年愛媛県生まれ、埼玉県育ち。慶應義塾大学在学中から野菜の栽培にいそむ。2004年グッドテンプルズを設立、農産物流通コンサルタントとして全国を駆け巡る一方、ブログ「やまけんの出張食い倒れ日記」を書き続ける。著書に『日本の「食」は安すぎる』『炎の牛肉教室!』などがある。

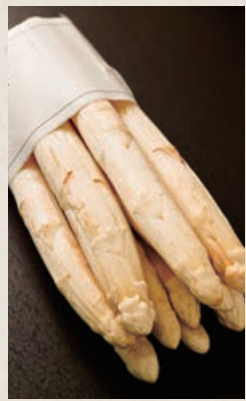


私たちが食しているのは若芽の部分

春を呼ぶ野菜のなかでも、とくに楽しみに野菜がアスパラガスだ。濃緑または白いアスパラガスは、塩茹でしただけで食べても十分においしい。特有の若芽えした香りに加え、噛むと甘い



長野県飯田市のアスパラガス畑。春を待ちわびるように伸びるアスパラガス



イタリア料理店のシェフが大好きな、北部イタリアはヴェネト州産のホワイトアスパラガス。みずみずしく、ほのかなほろ苦さがアクセントで、まさしく美味!

春を呼ぶ野菜

生命力に満ちたアスパラガス

ジュースがほとぼしる。なだらかな旨味の余韻を感じさせ、幸せな気分になる。アスパラガスは長いことユリ科とされてきたが、近年のDNA解析をベースにした分類体系ではキジカクシ科に分類されることとなった。アスパラガスの和名がオランダキジカクシなのは、これは地上部が成長するとワサワサと生い茂り、野生のキジがその茂みにいても気づかぬほどだ、ということに付いた名称らしい。そう、我々が食べるアスパラガスの形態はあくまで若芽であって、収穫せずに放っておくと地上部が人の背丈くらいまで伸びるのだ。おそらく初めて見る人は、それがアスパラガスとはわからないだろうほどの変化である。

アスパラガスは地上に出た若芽を収穫するわけだが、地下には何があるのか、考えたことがあるだろうか。じつはアスパラガスの原動力ともいえる存在は、ニョロニョロと生えた(ばつ



紫・白・緑と3色そろったアスパラガス。どれも味が違う

栽培する方法が主流となっている。ただ、個人的には味わいを比べると、昔ながらに土を盛る培土法の方がしっとりとして、みずみずしい肉質とほろ苦さが際立ち、おいしいと思うのだが。緑色に白色だけではなく、紫色のアスパラガスを見たことがある方もいるだろう。ピーツや紫ダイコンと同じ系統の色で、アントシアニン色素が表皮に発色したものだ。とても綺麗なのだが、残念なことに加熱すると色が飛んでしまい、ちよつと色の濃い緑色アスパラになってしまうのでご注意ください。

寒い時期にも出回るがやはり旬の春が一番

さてアスパラガスは春を呼ぶ作物ではあるが、春以外にも売場には並んで

と見はちよつとグロテスク(根茎だ。アスパラガスの栽培はこの「株」と呼ばれる根茎をいかに大事に育てるかにかかっている。春に若芽がニョロニョロ出てくるが、ある程度収穫したら、残りきらずに伸ばし、繁殖させる(これを立茎という)。これによって葉が光合成をし、養分が株に貯蔵されるのだ。株が養分を蓄えたまま冬を越し、春先になるとその養分を使って若芽を生やす。これを収穫していくわけだが、このときに獲りすぎにしまわずに、株に栄養を蓄える立茎を確保しなければならぬ。大事に育てれば一株で10年は収穫できるというから、生命力の強い作物なのである。

立茎したアスパラガスは、こんなに高くわさわさと伸びる(下)

アスパラガスは、店頭で並ぶ状態より長めに収穫する



ホワイト、パープル、色も味もいろいろ

アスパラガスは各国で愛されているが、とくにドイツでは白アスパラを「シュパーゲル」と呼んで、国民が春を心待ちにしているといっても過言ではない。アスパラガスを立てて茹でることができる専用の鍋を持つ家庭が多

いるのを見かける。春先、南の暖かな産地から出荷が始まり、だんだんと寒冷地に移動してしばらく出荷が続いた後は、おもにメキシコからの輸入品が並ぶのだ。ただ、アスパラガスは鮮度が命、輸入品はだいぶ味が落ちることもある。

ガスの若芽がニョロニョロと生えてくるのだ。これを「伏せ込み栽培」という。ただ、冬場にわざわざ加温をして生産するので、サステナビリティの観点からすると、かなり贅沢なアスパラガスといえる。

寒い季節に、ひよっこり店先に国産アスパラガスが並んでいるのを見かけることがある。寒い時期になぜ!? 仕掛けはこうだ。北海道などの寒冷地では、春から夏の間、アスパラガスを収穫せずに、じっくり株に栄養を蓄えさせておく。秋

春は加温をしなくとも、おいしいアスパラガスが次々と伸び出す旬の季節。ぜひ売場で手を伸ばして味わっていただきたい。



北海道比布町(びっぶちょう)の伏せ込み栽培の様子。極寒の季節でも育てることができる



アスパラの豚肉巻き、胡麻和え、グラタン。アスパラガスにはどんな料理にも合うほどの深さがある

「引っ越し蕎麦」には どんな意味があるのか？

かつて、引っ越しの挨拶の定番だったのが「そば」。そこには「いい、お付き合いを」という思いが込められていました。

江戸時代から続くしきたり

引っ越しは、新たな環境での生活の始まり。これから先、ご近所との人間関係がうまくいくよう、できれば最初のご挨拶をきちんとしておきたいものです。

引っ越しの挨拶というひと昔前は、「引っ越し蕎麦」がよく知られていました。「引っ越し蕎麦」の慣習は江戸時代中期に、江戸の町を中心に広がったようです。当時は乾蕎麦がなかったこともあり、そば屋に手配して、大家さんにせいろ5枚、隣近所に2枚ずつ配ったといわれています。

券のようなものでしょう。その後、乾蕎麦が普及するにしたがって、箱入りの乾蕎麦を挨拶の品にする人が増えました。

変わる引っ越し蕎麦のかたち

「引っ越し蕎麦」の慣習も時代とともに変化していきました。いまでは引っ越し当日、引っ越しを手伝ってくれた友人たちと一緒にそばを食べることを「引っ越し蕎麦」と称することも多いようです。引っ越し当日は忙しいし、料理をするのも大変です。近所でそばをテイクアウトして、新居でみんなそばを食べながら祝杯をあげるのもありかもしれません。

ちなみにそばは種をまいてから70〜80日と比較的短期間で収穫でき、寒冷地だったり痩せていて稲作には適さない土地でも育つことから、かつては「救荒作物」といわれました。そばが日本に伝わったのはかなり古い時代のようにですが、食文化として定着したのは室町時代頃。そば粉を湯で練る「そばがき」として食べられていました。麺にして食べる「そば切り」が普及したのは、江戸時代

ではなぜ、引っ越しの挨拶がそばだったのでしょうか。言葉遊びが好きな江戸っ子は、そばに「おそばに参りましたのでよろしく願います」「切れないおつきあい、細く長く続きますように」などの意味を込めたとか。また、一説によると、かつては引っ越しの挨拶に赤飯や餅を手土産にしたものの、値が張ることもあり、安価なそばが一般的になったそうです。

明治・大正時代、東京を中心とした関東エリアでは、「引っ越し蕎麦」は転居の際、欠かせないものとなっていました。そば屋に手配してそばを届けるやり方も続いていましたが、大正時代には、そば

だと考えられています。

知っておきたい 引っ越し挨拶の作法

さて、いまの時代、引っ越しの挨拶はどのようにするとよいのでしょうか。引っ越し挨拶に何うタイミングは、引っ越し当日か翌日が目安。場合によっては、引っ越し前に挨拶に行ってもかまいません。相手が不在の場合は、改めて何う旨を書いた挨拶状を投函しておく方法もあります。

挨拶に何う先は、昔は「向こう三軒両隣」といわれていました。一戸建ての場合、立地にもよりますが、一般的に両隣とお向かいの三軒。マンションの場合は、両隣とよく顔を合わせるようになると思われるお宅、そして音が響くかもしれない上下の部屋にも挨拶に行くことをおすすめします。管理人さんにも、挨拶をしておくとういでしょう。

小さなお子さんがいたり、夜勤などで夜間の出入りがある場合は、「子どもが泣くかもしれない」「夜勤があるので深夜や早朝の出入りがあります」などと

監修 柴崎直人 (小笠原流礼法総師範)

しばさき・なおと/1966年東京都生まれ。学習院大学卒、筑波大学大学院教育研究科修士課程カウンセリング専攻修了。小笠原流礼法の伝承と指導者の育成に努める一方、ビジネスマナーの講師としても活躍。2015年より岐阜大学大学院教育学研究科准教授。著書に『いま生きる礼儀作法』『小笠原流礼法が教える正しいビジネスマナー』などがある。



屋が「蕎麦切手」を発行するようになったそうです。引っ越しの挨拶の際、「蕎麦切手」を渡し、もらったほうは好きな時にそば屋に行って、その切手でそばを食べる、というわけです。いまでいう商品

ひとこと伝えておくと、その後のお付き合いがスムーズになります。

引っ越しの挨拶をする際は、服装や言葉遣いなどのマナーにも気をつけ、タオルやふきん、クッキーなど、相手がお返しの手配をしないですむ程度の日常的な品を持っていくようにします。もちろん、乾蕎麦でもかまいません。品物には熨斗紙をかけ、上のほうに「ご挨拶」の文字を、下に自分の名字を書いておきます。

最近のご近所づきあいが苦手という方もいるようですが、災害など何かあった際、ご近所とのよい関係はセーフティネットにもなります。「遠くの親戚より近くの他人」ということわざがあるように、ご近所との良好な関係は、暮らしを円滑にするために大切なことです。とくに、それまで知らなかった土地に引っ越し場合は、ご近所とよい関係を築いておくこと、地元の情報も教えてもらえるなど、新生活を送るうえで助けになるはず。「引っ越し蕎麦」に込められた「おそばに参りましたので、細く長くよいおつきあいを」の精神を、いまの時代なりに大事にしたいものです。

地球温暖化

温暖化の影響か、極端化する気候——これからどうなる?・少雨と乾燥化

25〜26年は、太平洋側を中心に記録的な少雨状態が続いたうえ、大雪にも見舞われた。激しい気候変化は、はたしてこの先、日本でも常態化するのだろうか？

30年に一度レベルの記録的な少雨

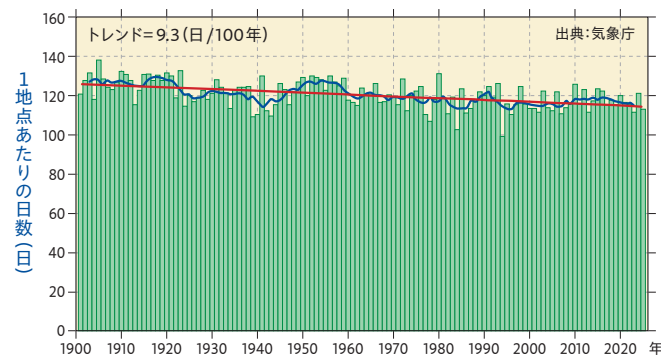
太平洋側を中心に、降水量が少ない状態が続いている。2025年8月から26年2月の降水量は平年の50〜60%前後。乾燥しがちな冬に入ると、12月末以降の4週間は、この時期としては30年に一度レベルの記録的な少雨になった。フィリピン付近で積乱雲の発生が多い状態が続いたことが、少雨の背景にあるという。

8月中旬から10月下旬まで、低気圧や台風の影響が少なかったのは、平年より強まった亜熱帯高気圧の勢力下に入ったからだ。秋雨前線は例年よりかなり遅い10月下旬に現れて短期間で終息、11月以降は移動性高気圧と冬型の気圧配置の繰り返しになり、低気圧の影響をほとんど受けなかった。太平洋側で少雨が続く一方、日本海側では、1月下旬から2月上旬にかけて記録的な大雪となった。こうした気象について、地球温暖化の影響を調べる「極端気象アトリビューションセンター(WACC)」に参加する北海道大学・佐藤友徳教授は、1月下旬の大雪は地球温暖化が影響していると分析する。大陸からの寒気が日本海で温められながら水蒸気を蓄えた筋状の雲「日本海寒帯気団収束帯(JPCZ)」となり、北日本や東日本の日本海側では、温暖化とともに降水量が増えた。強い寒気に覆われる時期はそれが雪になり、JPCZに沿う広い範囲で局地的な大雪がもたらされるのだ。

響を調べる「極端気象アトリビューションセンター(WACC)」に参加する北海道大学・佐藤友徳教授は、1月下旬の大雪は地球温暖化が影響していると分析する。大陸からの寒気が日本海で温められながら水蒸気を蓄えた筋状の雲「日本海寒帯気団収束帯(JPCZ)」となり、北日本や東日本の日本海側では、温暖化とともに降水量が増えた。強い寒気に覆われる時期はそれが雪になり、JPCZに沿う広い範囲で局地的な大雪がもたらされるのだ。

【全国の日降水量1.0mm以上の年間日数は減少しています。】
●統計期間1901〜2025年で100年あたり9.3日の減少、信頼水準99%で統計的に有意。
●最近30年間(1996〜2025年)の平均年間日数(約116日)は、統計期間の最初の30年間(1901〜1930年)の平均年間日数(約125日)と比べて約0.9倍に減少しています。

全国の日降水量1.0mm以上の年間日数の経年変化(1901〜2025年)



195の国が参加する「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」の第6次評価報告書(21〜23年)は、地球温暖化の進行とともに大雨の頻度と強度が増し、一部の地域では干ばつを増加させていると報告する。こうした極端化した気候は日本でも起きており、雨や雪に関する降水量の経年

変化を見ると、少雨の年が増え出したのは1965年頃からだ。1時間に50mm以上の短時間強雨や大雨が増える一方で、年間の降水量(日降水量1mm以上)は、1901年から2024年の間に、100年あたりの観測

データで、約9.3日減少し、渇水がたびたび生じている。

農作物に大きな影響を与える少雨

昨年からの少雨では、全国各地でダムの貯水率が低下し、節水の呼びかけや給水制限がおこなわれた。愛知県東三河地域に水を供給する豊川用水では、水源である宇連ダムや大島ダムなどの貯水率が3月12日時点で9%まで低下した。2月10日から農業・工業用水は40%、水道用水は20%に節水率を引き上げたが、あいかわらず水不足が続いている。

神奈川県は、宮ヶ瀬湖など4つのダム湖の貯水率が大幅に下がったため、3月3日に「神奈川県企業庁渇水対策本部」を設置し、東京



水位が低下した神奈川県宮ヶ瀬湖。かつての道路が現れた

水温上昇が水資源を悪化させる

地球温暖化は気象の変動だけでなく、湖や沼、ダム、貯水池、河川などの水質にも影響を及ぼす。淡水環境では近年、水面が緑色に覆われる「アオコ」の発生が問題になっている。アオコは植物プランクトンが水中で大量に増殖したもので、市街地などから流れ込む、窒素やリンなどを含む水による富栄養化が原因だ。アオコは水温が20℃を超えると発生しやすく、死ぬと腐るため、アオコの発生した水源の水は臭くなるのだ。水温は、近畿の湖沼で8割、東北・関東・中部・四国・

九州で4〜6割上がりつつあることが確認されている。長野県の諏訪湖では、冬に湖が全面凍結すると、「御神渡り」といわれる、氷の山脈が出現するが、近年は結水しない「明けの海」となることが増えている。26年も2月4日、8季連続で「明けの海」が宣言された。地球温暖化が進むと、少雨や大雪の頻度が増し、自然環境や生活にさまざまな影響をもたらす。水資源を保全しながら、気候変動に耐えられるシステムの構築が叫ばれるゆえんだが、すでに各地で取り組みが始まっている。ちなみに水道水の約7割を地下水で賄う神奈川県秦野市では、渇水の影響を受けにくい地下水を持続可能な資源にするため、量と質の保全とともに、渇水や災害時に揚水できるよう、井戸の配管を広域避難所へ引き込むなど、取り組みを始めた。私たちは1日に約2ℓの水を飲み、トイレ1回に約4ℓの水を使い……そのほか、1日に約200ℓの水を消費しているといわれる。節水家電を選ぶ、洗濯物はまとめ洗いの、などなど、水を大切に使う一方、普段から地球温暖化を進行させないよう意識してライフスタイルを見直していく必要があるのではないか。

第15回 全国草原サミット・シンポジウム in ここのえ イベントに協賛しました

2026年9月に全国草原サミット・シンポジウムが大分県九重町で開催されるのを前に、さまざまなイベントがおこなわれました。当財団が運営する九重ふるさと自然学校の参加・協力とともに協賛を通じて、ご来場、ご参加いただいた多くの皆様に、九重町の草原の魅力や大切さ、保全活動について知っていただける機会となりました。



くじゅうフェス

野焼きで使用する消火用具「ジェットシューター」体験
「草原スタンプラリー」は大盛況!

草原の写真教室

プロがコツを伝授。いつもと違う新たな視点で草原をパチリ

草原あるきと俳句を楽しむ会

秋の草原を散策しながら、心にしみる句が完成

ここのえ草原フォトコンテスト『セブン-イレブン記念財団賞』

受賞おめでとうございます!



九重町民部門 「火入れ」

〈受賞された写真について、教えてください。〉
草原の維持のためにおこなわれる野焼きを担う方々を写真に収めたいと思い、シャッターを押しました。
〈九重の草原の押しポイントを教えてください。〉
四季折々姿を変える「タデ原湿原」がイチオシです。とくに夏場は風が心地よく最高です!

撮影者 びさん

※その他の受賞作品はこちらから

その他部門 「網の中には、草原の通信簿」

〈受賞された写真について、教えてください。〉
私を癒やすいまのこの場所（九重ふるさと自然学校）に感謝。このオモンロさがいつまでも続き、未来の誰かの気持ちを豊かにしてほしいな。
〈九重の草原の押しポイントを教えてください。〉
何百回でも深呼吸したくなる緑の草原! 自分でも図鑑を作れそうなくらい花や虫の種類が多く、発見ばかりです。

撮影者 お茶っ葉さん

本大会開催日決定

第15回 全国草原サミット・シンポジウム in ここのえ
大会テーマ **未来へつなぐ 野焼き文化と草原のめぐみ**

【日時】2026年9月5日(土)~6日(日)
【場所】大分県玖珠郡九重町
●基調講演、分科会、現地見学会、首長サミットなど予定。

参加募集開始 2026年5月予定

最新情報・大会詳細はホームページをご覧ください
<https://www.sougen-summit.com/>

自然環境保護・保全 ● 愛媛県八幡浜市

特定非営利活動法人
かわうそ復活プロジェクト
<http://naturevoice.jp/>



魚調査を元にした図鑑作り



長浜高等学校水族館部と岡山理科大学獣医学部による肱川(ひじかわ)での魚調査の様子



私たちは、行政だけでは解決が難しい環境問題に、地域の力で挑もうと設立されました。団体名から「かわうそ」を放獣する団体と誤解されがちですが、目標は絶滅危惧種に分類されているニホンカワウソが、普通に暮らしていた頃の環境を取り戻すことです。その実現に向け、自然観察でまずは“名前を知る”ことで親しみを育むことを目標に、2025年度の環境市民活動助成により、これまでの調査を基に『肱川の魚図鑑』を出版しました。

また、住民自らが生きものにぎわいを実感することを目指して「モニタリングサイト1000」里地調査の一般サイトとして登録し、継続調査を実施。独自の哺乳類調査の成果は、市の鳥獣被害防止対策協議会で発表しています。これからも、調査し、名前を知り、暮らしのなかで生きものの息づかいを感じられるよう、地域みなさんとともに活動を続けていきます。みなさんのご協力をお待ちしています。次回観察会のご案内も広報していきますので、ぜひご参加ください。



大洲(おおず)城址周辺での「大洲わくわく自然観察会」

自然環境保護・保全 ● 神奈川県横浜市

横浜メダカの会
<https://yokohama-medaka.sakura.ne.jp/>



横浜の財産 「横浜メダカ」の遺伝子を 保存し、未来につなぐ



名瀬谷戸の池にメダカを里帰りさせている様子

2006(平成18)年12月に発足した「横浜メダカの会」は、境川水系と帷子川水系に古くから生息する固有種の「横浜メダカ」(矢部メダカ・名瀬メダカ・大池メダカ)の保存活動をおこなっています。これまでの取り組みが評価され、2024(令和6)年度横浜市みどり環境局より、第31回横浜環境活動市民活動部門で大賞を受賞しました。

横浜メダカは2004年に新潟大学名誉教授・酒泉満氏によりDNA鑑定され、ミナメダカ東日本型であることが確認されています。会ではこの貴重な遺伝子を未来に残すため、セブン-イレブン記念財団の助成を受け、会員や横浜市立動物園、学校、企業ビオトープなどと連携して保存活動を進めています。2017年からは「名瀬メダカ里帰りプロジェクト」を開始し、名瀬谷戸の池への再生・定着を支援しています。また、横浜市みどり環境局と協働し、環境教育出前講座を実施し、今年度は17校・約1700名の生徒に横浜メダカの大切さを伝えました。



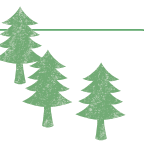
第31回横浜環境活動賞・市民の部「大賞」の授賞式(25年)



横浜市の小学校での「環境教育出前講座」の様子



セブンの森だより



一般財団法人セブン-イレブン記念財団は、環境省自然環境局および地域の活動団体とともに国立公園の環境保全活動に協働で取り組むことを目的とした、『国立公園の環境保全活動に関する協力協定書』を2023年4月7日(金)に環境省自然環境局と締結いたしました。

霧島錦江湾国立公園



カニや貝、甲殻類がたくさん見つかった!



干潟の生きもの調査。何が見つかるかな?



桜島をバックにして活動後の集合写真

【2025年秋の活動報告】

行政と地域参加者が連携し、総勢71名が参加。生きもの観察と干潟の耕うん4回目を実施しました。



観察では小さな穴を丁寧^{ていねい}に掘り起こし、カニや貝類など小さな甲殻類を確認。大人も子どもも夢中で探索し、「見つけた」と声があがりました。直前の豪雨で個体数はやや少なめでしたが、多様性を実感。続いて一列に並びスコップで土を起こし、固い地表に通気と透水の道をつくりました。耕うんの継続により土は初回より柔らかく、掘りやすくなっていました。

作業後は、次回に比較できるように記録シートで結果を整理。今後は季節ごとの変化を踏まえて観察ルートを見直し、耕うん範囲の拡大や清掃頻度の最適化も検討します。これからも効果を検証しながら、自然と人がともに生きる海辺を守っていきます。

生きものが棲みやすい環境づくり

近年、重富海岸では大型台風などの自然攪拌の機会が減少し、干潟の土が自然に混ざらない状態が続いています。結果として表層が締まって固まる一方、下層は水や空気が通りにくく貧酸素化しています。細粒土や有機物が偏って溜まり、微地形が失われ、カニや貝類などが巣穴を掘りにくい、移動しにくい環境になっています。

この生息環境の劣化を改善するため、私たちは耕うんによって土をほぐし、空隙^{くうげき}(すきま)を増やし、水と酸素の通り道や微地形を回復する取り組みを進めています。



深く深くと耕す、耕うん作業はなかなかの重労働

セブン-イレブン記念財団は、日本の美しい自然を次世代に引き継ぐため、自然環境保護・保全事業をおこなっています。そのひとつであるセブンの森・セブンの海の森活動では、自然環境の特徴・ニーズに合わせて、環境活動団体と一緒に計画を立て、10~20年後を見据え、長期的な次世代につなぐ地域一体型の自然環境保護・保全活動を実施しています。

広島セブンの森



固い土を掘り起こして、アカマツを植樹



下草刈りで、「こんな切れたよ!」とアピール



整備した山をバックに集合写真

【2025年秋の活動報告】

第24回「広島セブンの森」には128名が参加。アカマツ300本の植樹、山道整備のための下刈り・伐採、道路脇の清掃を実施しました。植樹チームは急斜面で声を掛け合い、一株ずつ丁寧に定植。子どもたちも一生懸命に取り組みました。間伐と下刈りで道幅が広がり、地表に日が差し込むようになって、再生への大きな一歩になりました。今後も山道整備を進め、次世代につながる森づくりを継続していきます。



急な傾斜もなんのその。果敢に坂を登って作業

森再生の活動

東広島市の「広島セブンの森」は、松枯れで荒れた里山を再生するための、産・官・学・民が連携して進める協働プロジェクトです。地域の森を未来へつなぐことをめざし、植樹・間伐・下刈り・清掃を継続。参加と学びの場として、子どもから大人までが自然とつながる機会を育んでいます。「循環する森づくり」をテーマに、誰もが関われる開かれた活動を重ねています。



大人に助けをもらいながら、三世代目の子どもたちも参加



初回からの参加メンバー。今回は周辺のごみ拾いを担当

Topic 2025年、セブンの森づくりが始まりました!!

4/16 福岡セブンの海の森

福岡県、福岡県ブルーカーボン推進協議会、(一社)ふくおかFUNと整備・保全協定書を締結。

6/25 沖縄セブンの海の森

八重瀬町、(株)セブン-イレブン沖縄、ホロホローの森未来づくり協議会と整備・保全協定書を締結。

10/3 宮崎セブンの水辺の森

特定非営利活動法人大淀川ネットワーク、宮崎市、宮崎大学工学部、国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所と整備・保全協定書を締結。



セブン-イレブン記念財団のHPでは、セブンの森の活動を動画でも紹介しております。

霧島錦江湾国立公園整備活動
https://www.7midori.org/katsudo/sizen/moe_torikumi/national_park/kirishimakinkouwan/

広島セブンの森
<https://www.7midori.org/katsudo/sizen/711forest/hiroshima/>



セブン-イレブン記念財団『みどりの風』アンケート
2026年春号 特集「サンショウウオの棲む里川」

Q1 面白い、役に立ったと感じた記事を、□欄に✓をつけてお選びください。(複数回答可)
また、それについての感想があれば下の □□□□ 欄にご記入ください。

<input type="checkbox"/> 吾が心のオオサンショウウオ 玄侑宗久 <input type="checkbox"/> 大人も子どもも、力を合わせて 東広島市豊栄町 <input type="checkbox"/> 進むオオサンショウウオの交雑—— 在来種を守るか 西川完途 <input type="checkbox"/> わが町のご当地サンショウウオ <input type="checkbox"/> 探訪 わが校のおもしろ自然研究 トウキョウサンショウウオの繁殖を助ける活動 神奈川県立横須賀高等学校 科学部 <input type="checkbox"/> 絶滅の恐れがある生きもの図鑑① ゲンゴロウ <input type="checkbox"/> 脱炭素チャレンジカップ2026 鳴門ワカメの不要部分を有効活用 徳島県立吉野川高等学校	<input type="checkbox"/> ただいま活動中 河川の魚の生態調査を体験型環境学習で 特定非営利活動法人 R.I.La <input type="checkbox"/> やまけんのうまいもの風土記 生命力に満ちたアスパラガス 山本謙治 <input type="checkbox"/> 四季折々の暮らしのしきたり 「引越し蕎麦」にはどんな意味があるのか? 柴崎直人 <input type="checkbox"/> もっと知りたい! 地球温暖化 これからどうなる? 少雨と乾燥化 <input type="checkbox"/> 活動レポート <input type="checkbox"/> 第15回全国草原サミット・シンポジウム in ここのえ <input type="checkbox"/> セブンの森だより <input type="checkbox"/> セブンの森だより動画(二次元バーコードより視聴可能)
--	--

Q2 本誌に対するご意見・ご感想、今後読んでみたい記事など、ご自由にご記入ください。

Empty text box for Q2 responses.

Q3 本誌をどのような立場でお読みになりましたか?

- | | | | |
|--|-----------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> セブン-イレブン加盟店オーナー | <input type="checkbox"/> 加盟店従業員 | <input type="checkbox"/> 行政機関 | <input type="checkbox"/> 企業 |
| <input type="checkbox"/> 環境市民団体 | <input type="checkbox"/> サポートセンター | <input type="checkbox"/> 研究機関 | <input type="checkbox"/> 教諭 |
| <input type="checkbox"/> 財団・社団法人 | <input type="checkbox"/> その他 () | | |

Q4 年齢についてご記入ください。

- (年齢) 20歳未満 20代 30代 40代 50代 60代 70歳以上

●アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で3名様にセブンプリカ(1000円分)をプレゼントいたします。ご希望の方はお名前・ご住所をご記入ください。

★プレゼントの応募締切：2026年5月31日(当日消印有効)★

お名前: _____

ご住所: 〒 _____

※ご記入いただいたお名前・ご住所は、プレゼント発送以外の目的では使用いたしません。

セブン-イレブン記念財団 FAX: 03-3261-2513

各位

『みどりの風』2026年春号送付のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

『みどりの風』は、日本各地で自然環境の保護保全に尽力されている個人や団体を取りあげ、「人と自然の共生」のための新しい視点や方向性を提示していく広報誌です。

今号は「サンショウウオの棲む里川」を特集しました。サンショウウオといえばオオサンショウウオを思い浮かべがちですが、ほかに日本には、約50種もの小型サンショウウオが生息しています。川や沼の石の隙間、落ち葉の下でひっそりと暮らす彼らは、里山の自然の豊かさを映す存在です。しかし今、その多くが絶滅の危機にあります。本特集では、生息地の保全活動を通して、里山の生物多様性の現在と未来を探ってみました。

当財団では、皆様から率直なご意見・ご感想をいただき、これからの活動と広報誌『みどりの風』の誌面づくりに生かしていきたいと考えております。今後ともセブン-イレブン記念財団ならびに広報誌『みどりの風』をよろしくご厚意申し上げます。

敬具

一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8
TEL:03-6238-3872 FAX:03-3261-2513

～皆様のご意見・ご感想をお聞かせください～

WEBでのアンケート入力が可能になりました。

こちらのURLまたは二次元バーコードよりお願いいたします。

【URL】 <https://ws.formzu.net/dist/S88834601/>



従来どおり FAX でのアンケート受付も可能です。

裏面のアンケート用紙にご記入の上、セブン-イレブン記念財団 事務局まで FAX していただけますようお願い申し上げます。2026/5/31まで(当日消印有効)

セブン-イレブン記念財団 FAX: 03-3261-2513

アンケートにご回答いただいた皆様から抽選で3名様に
セブンプリカ(1000円分)をプレゼント!

